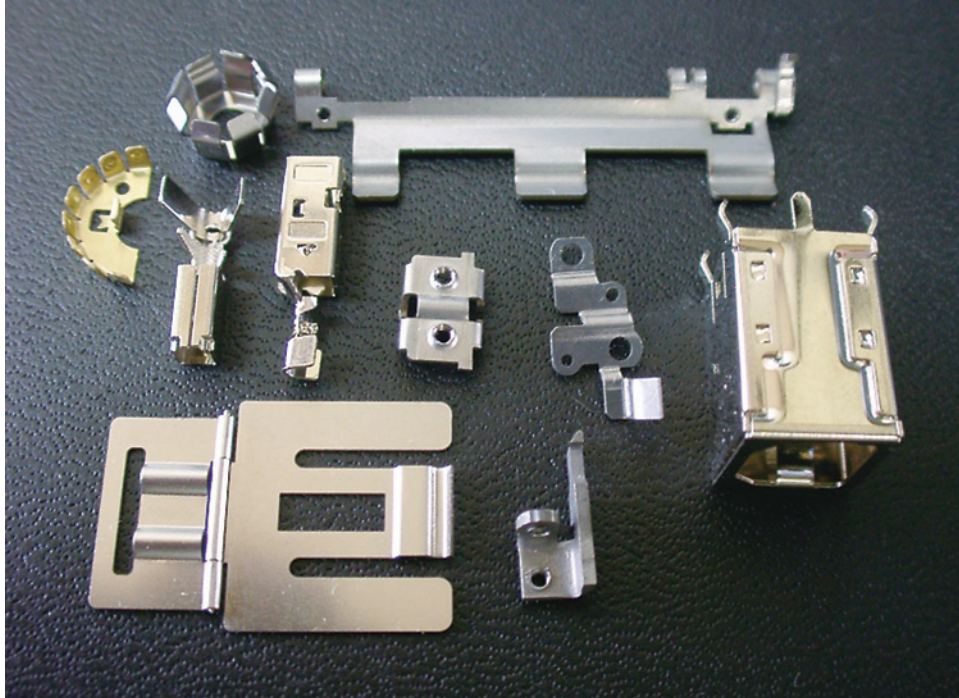


有限会社 たくみ精密鋁金製作所 多彩な試作品の部品加工で 産業界を支える

海外発注可
期相
企画力
自信有
コスト相
談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量対応



板薄、極小等、超精密鋁金の数々

業務内容

試作品の部品加工を主軸に
ロボット分野にも進出

メーカーが新製品を開発する前段階として必要不可欠な、試作品の部品製作を請け負うたくみ精密鋁金製作所。扱うジャンルは多彩で、携帯電話やデジタルカメラ、自動車にカーナビ等、いずれも現代の生活に欠かせないものばかりだ。

同社が注力しているもう一つの事業が、ロボット部品の開発・製造・販売だ。発端は約8年前、鈴木社長が参加する異業種交流会・マテック八尾において「ロボット事業を成功させ八尾の地場産業に」という提案だった。ロボット分科会会長を務める経緯から自ら先頭に立ち、人や企業との新たなつながりも得て、ロボットパーツ製造に着手することとなり現在に至っている。



ロボット部品のオムニ
ホイール

強み

「薄物」に特化して技術を重ね
ノウハウを構築

同社の部品加工はワイヤー放電加工機が基軸となっている。試作品の部品一つ取ってもさまざまな加工法がある中で、同社がこの「ワイヤー」を選択したのは他社との「差別化」に他ならない。

ワイヤー放電加工機の大きな特長は、汎用機械や金型では到底加工でき

ないような細かい部品や、高い精度を要求される部品の製造が可能であること。試作品でありながら設計者が求める以上の精度を出し続けられるのは、このためだ。

「弊社のような小さな会社では、他社と同じ機械、技術で挑んでも勝ち目はなく、価格競争に巻き込まれるだけ。私たちの業界では「薄物」と呼ばれる、高い精度が要求される分野にて活路を見出したのです」と鈴木社長。

技術伝承

1人ではなく全員で
多能工化を実現

独自の路線で技術や経験を積み、極小の精密部品の加工を得意とする同社では、ノウハウの伝承が欠かせない。人件費を抑える目的で若い技術者を集める企業もあるが、同社ではベテラン技士ばかり。しかも、全員が単能工ではなく、加工はもちろん、顧客との相談から見積り、納品まで責任を持って担当できる多能工を超えた技術力を有しているのだ。

さらに個々が習得した知識や技術力は週に1度の勉強会で発表され、ノウハウの共有とレベルの底上げの原動力となっている。

今後の展望

同社の「柱」となる
新事業と人材育成に意欲

従来の加工業にとどまらず、ロボットの開発・製造等、第2、第3の事業を模索中の同社。

今後専門性を極めていく方向は変わらないが、将来の同社を、大阪を、日本を担う技術者を輩出すべく人材育成にも力を入れていく考えだ。

COMPANY PROFILE

有限会社たくみ精密鋁金製作所

大阪
24

当社の歴史

先代社長は創業当時より商才に長けた先見の明のある人でした。ワイヤー加工しかり、タレットパンチプレスしかり、鋁金業界において常に「他社がしないこと」に特化して極めることで、自社の存在価値を見出してきました。今後もその路線を変えることなく、社名の通り「たくみ（匠）」「精密」にこだわった仕事を続けていきます。

これからも小さな技術と実績を積み重ね、
愛され、信頼される会社であり続けます。

代表取締役 鈴木 謙三さん



■主な事業内容

試作品部品の製造・
加工、ロボット部品の
開発・製造・販売 等

■主な取引先（納入先）

電器メーカー、自動車
部品メーカー 等

住 所／〒581-0081

八尾市南本町9-1-5

T E L ／072-993-7679

F A X ／072-993-7581

創 業／昭和59年5月

設 立／昭和60年8月

資本金／1,200万円

従業員／5名

<http://homepage2.nifty.com/takumi-seimitsu/>